

春夢草 肖柏

滝辺螢火

岩間よりみがきいだすやとぶ螢

あまる光に滝の白たま

滝下螢

おとなしの滝の岩なみとぶほたる

世はしのばれぬ思ひとぞみる

海辺見螢

まつらがたもろこし船の妻ごひに

天がける玉のとぶ螢かな

深夜蛍

夕やみもやや更けわたる河のせに
てらしすてても行く蛍かな

とぶ蛍ひかりやをしき月の色に

山のは匂ふふかき夜の空

行きやらでやどる蛍も影つすき

岩かき水のふかきよの雨

雨中螢

飛ぶほたる沢を田ひろみてらすなり
山本めぐる雨をよききて

叢蛩

露霜のを花がもとにくちにしや

蛩ともゆる草ばなるらん

「国歌大観」より